

2017年2月1日から2018年1月31日の間に  
川崎医科大学附属病院で弓部大動脈瘤手術を受けられた患者さんへのお知らせ

**課題名：当院のオープンステントグラフト手術術式**

1. 研究の対象

心臓血管外科学教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2017年2月1日から2018年1月31日の間に弓部大動脈瘤手術を受けられた患者さんの手術結果について後方視的調査研究を実施します。

2. 研究の目的・方法

弓部大動脈瘤手術はリスクの高い手術です。本研究は、最近の新しい手術術式の成績についてまとめて検証を行うものです。治療介入を伴わない既存資料（診療録の内容および手術ビデオ）を用いた後方視的研究であるため、新たに人体試料は採取しません。患者さんに新たなリスク、経済的負担、また謝礼などはありません。

3. 研究に用いる情報の種類

診療録の情報：年齢、性別、血管画像所見、手術所見、術中ビデオ、手術時間、体外循環時間、大動脈遮断時間、体循環停止時間、脳分離体外循環時間、最低深部体温等。

個人が直接同定されうる情報は匿名化した後に解析を行なうため、外部に漏れることはありません。研究成果は学会で発表いたします。また、研究に関するデータは学会発表後から5年後に破棄いたします。

4. お問い合わせ先

研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報くださいようお願いいたします。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

研究責任者：心臓血管外科学 教授 種本和雄

[お問い合わせ先]

川崎医科大学心臓血管外科学 教授 種本和雄

〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577

TEL: 086-462-1111 内線: 25517

Email: tanemoto@med.kawasaki-m.ac.jp

## 5. 利益相反

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断に歪みが起こりかねない状態を利益相反状態と言います。本研究にかかる費用はなく、利益相反委員会にこの内容を申告し適正に管理されています。